CMS機能要件一覧(共通項目)

以下の要件に該当する機能を有するものであること。

	項目	要 件	備考
1	1.基本要件	1 導入するCMSは、過去5年間に地方公共団体へ導入された実績を有すること。	
基		利用するパソコンには、特殊なプログラムなどをインストールすることなく、Webブラ	
本		ウザのみで動作すること	
要		クライアントPCはインターネット接続された端末で、職員が作成、更新、管理業務が行	
件		えること。	
等		コンテンツ作成時は、ウェブアクセシビリティなどの基準に合ったページを、HTML言	
		4 語を意識することなく、簡易な画面操作、具体的には一般的なワープロソフトに近い操	
		作性で作成できること。	
		コンテンツ作成時は、完成イメージに直接コンテンツを入力し、つど完成度をプレ	
		ビューする必要がない作成が行えること。	
		登録端末の台数やユーザー数、ページ数やテンプレート数の増加によりライセンス料金	
		が発生しないこと。	
		7 管理ユーザー全員に個別のID、パスワードを付与できること。	
	2.アクセシ	ページ単位で、色に頼った情報提供になっていないかを、プレビューイメージ等にて、	
	ビリティ	視覚的に把握できる機能を有すること。	
		ページ単位で、画像に頼った情報提供になっていないかを、プレビューイメージ等に	
		て、視覚的に把握できる機能を有すること。	
		」 J I S X 8341-3:2016における達成等級AAの全てを考慮し、可能な限り達成等級AAAに	
		も考慮すること。	
	3.デザイン	1 サイト全体の構成と掲載項目の整理および閲覧者のユーザビリティを考慮すること。	
		2 サイト全体として、標準化・統一化されたページデザインとすること。	

1		1		
	4.トップ	1 お	5知らせ情報(イベント情報を除く)のうち、管理者または作成者が選択した情報を	
	ページ	1	・ップページに表示できること。	
		2 更	三新した情報を「新着情報」としてトップページに表示できること。	
		3 更	新した全てのお知らせ情報(イベント情報を除く)を、日付降順により、トップペー	
			ジ以外に表示できること。	
		1 サ	・イトの利用ガイド・著作権・セキュリティ・免責事項・個人情報利用規定などの情報を掲	
		4 載	なすること。	
	5.サイト	1 サ	・ イト全体の構造が容易に理解できるようなサイトマップを管理画面にて自動作成でき	
	マップ	1 る	うこと。	
	6.階層・構			
	造・情報分			
	類(カテゴ	1 カ	ŋテゴリは大→中→小カテゴリ等、管理画面にて自動作成できること。 	
	リ分類)			
2	1.テンプ	1 倍	『理可能なテンプレート数に上限がないこと。	
1 -	, ,	-1 ⊨	は生り形なアンプレード数に上欧カないこと。	
			理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 ではなりシンプレートを登録・変更・削除できること。	
		2 管		
		2 管 3	理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。	
コンテ		2 管 3 デ る	理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御す	
コンテ	レート	2 管 3 デ る 1 生	理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。	
コンテン	レート	2 管 3 テる 1 生 2	選理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。 E成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。	
コンテンツ	レート	2 管 3 元 1 生 2 に	選理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。 E成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。 出出しレベル(< h > タグ)、段落(タグ)が、H T M L の知識のないものでも簡単	
コンテンツ作	レート	2 管 3 元 1 生 2 に 3 そ	選理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 ニータと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。 に成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。 出出しレベル(<h>タグ)、段落(<p>タグ)が、HTMLの知識のないものでも簡単 に指定でき、自動的に設定されること。</p></h>	
コンテンツ作成	レート 2.構造	2 管 3 a 1 2 見 に 3 そ 作	語理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 データと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。 に成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。 出出しレベル(< h > タグ)、段落(タグ)が、H T M L の知識のないものでも簡単 に指定でき、自動的に設定されること。 この他文書構造タグが簡単な操作で設定できること。	
コンテンツ作成機	レート 2.構造	2 管 元 3 1 生 見 に 3 6 作 と	選理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 ボータと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。 成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。 出出しレベル(<h>タグ)、段落(<p>タグ)が、HTMLの知識のないものでも簡単に指定でき、自動的に設定されること。 たの他文書構造タグが簡単な操作で設定できること。 成者に<title>要素の内容の入力を強制する機能があること。また、作成者の入力内容</td><td></td></tr><tr><td>コンテンツ作成機</td><td>レート 2.構造</td><td>2
1
3
1
2
2
6
7
8
7
8
7
8
7
8
7
8
7
8
7
8
7
8
7
8
7</td><td>理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 「一タと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すると。 に成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。 出出しレベル(<h>タグ)、段落(<p>タグ)が、HTMLの知識のないものでも簡単に指定でき、自動的に設定されること。 この他文書構造タグが簡単な操作で設定できること。 に成者に<title>要素の内容の入力を強制する機能があること。また、作成者の入力内容には別に、管理者が指定した文字列(「岩内町」など)が自動的に全てのページのタイ</td><td></td></tr><tr><td>コンテンツ作成機</td><td>2.構造 3.タイトル</td><td>2 管 デ る 生 見 に そ 作 と ト M</td><td>理者が、テンプレートを登録・変更・削除できること。 「一タと表示スタイルを完全に分離し、表示スタイルはすべてスタイルシートで制御すること。 に成されるページデータは、ウェブ標準に配慮した文書構造を持つこと。 出出しレベル(<h>タグ)、段落(<p>タグ)が、HTMLの知識のないものでも簡単に指定でき、自動的に設定されること。 この他文書構造タグが簡単な操作で設定できること。 に成者に<title>要素の内容の入力を強制する機能があること。また、作成者の入力内容には別に、管理者が指定した文字列(「岩内町」など)が自動的に全てのページのタイトルに挿入されること。</td><td></td></tr></tbody></table></title></p></h>	

5.表	表を作成できること。	
	え 表のキャプション、概要(サマリー)、見出しセルが設定できること。	
6.画像	国像の掲載・変更・削除が容易にできること。	
	2 画像をページに貼り付ける際にHTML内に説明やリンクを付けられること。	
	画像ファイルの容量を制限できること。	
7.地図	l ページ内にGoogleMapsを掲載することが可能であること。	
8.動画	l ページ内にYouTubeなどの動画を掲載(埋込型)することが可能であること。	
9.リンク	内部リンクおよび外部リンクを設定できること。	
	コンテンツ公開開始時に、パンくずリスト、指定したカテゴリインデックス、ローカル	
	アナビゲーションおよびサイトマップにページタイトルをリンク名としたリンクが自動生	
	成され、公開終了時にそれらが自動削除できること。	
10.コンテン ツの削除・ 再利用	LCMSに保存されているコンテンツを、一覧から選択・再利用できること。	
11.添付ファ イル	MicrosoftWord、Excel、PDFなどのファイルを添付すると、ファイルの種類が自動的に 表示されること。	
	PDFを掲載した際に、AdobeReader最新版のダウンロードの案内が自動で表示できること。	
12.プレ ビュー	作成したコンテンツの公開イメージを作成・承認の各段階で、公開前にプレビューできること。	
	作成したコンテンツのスマートフォンでの公開イメージを作成・承認の各段階で、公開前にプレビューできること。	
	コンテンツ作成時に、公開時と同じ状態でプレビューできること。また、容易な操作で 作成画面に戻れること。	

13.問い合わ	各ページにはユーザIDに応じた所属、問い合わせ先が自動的に表示されること。ま
せ先	1 た、複数の問い合わせ先が表示でき、あらかじめ登録してある選択肢から任意に選択可
	能なこと。
14.カテゴリ	1 管理者が、カテゴリを追加・変更・削除できること。
管理	2 作成済みのコンテンツを別のカテゴリに移せること。
15.所属管理	課・室別ページ、部局別ページ、出先機関ページが必要に応じて各所属で作成管理でき 1
	¹ ること。
	課・室別ページ、部局別ページ、出先機関ページでは各所属の発信する情報へのリンク
	を全て掲載できること。
	3 発信する情報へのリンクは、各所属ごとに自由に見出しを付けて整理できること。
16.ナビゲー	1 全てのページにトップページへ戻るリンクを設定すること。
ション	2 各ページにグローバルナビゲーションを自動生成すること。
	3 各ページにパンくずリストを自動生成すること。
17. コンテ	1 コンテンツ作成時に指定した公開日・削除日に、自動公開・自動削除できること。
ンツの公	2 公開期間については、年月日の指定ができること。
開・更新	3 公開期間を無期限とする設定が行えること。
	4 管理者は公開中のページを非公開にすることなく、更新できること。
18.承認・公	1 作成者から承認者の承認フローがあること。
開	承認ルートは、特定のカテゴリーまたは特定の所属に限定した承認ルートを設定できる 2
	² こと。
	承認ルートの変更や追加は、管理者(職員)が容易な操作で行えること、かつ追加の場
	合は数に上限がないこと。
	4 作成途中のコンテンツを保存でき、再口グイン後に途中段階から再開できること。
	5 管理者は承認フローによらずコンテンツを公開できること。

	19.SNS連携	1	Twitterやfacebookと連携できること。	
		2	ホームページに掲載した記事に対して、閲覧者のTwitterやFacebookのタイムラインなど にシェアできるリンクボタンをページ内に設置し、記事のシェアが容易にできること。	
3 管	1.ユーザー 管理	1	管理者は、管理コンテンツの割り振り、権限設定、ユーザ ID、パスワードの付与ができること。	
理機		2	管理者は組織情報の管理(部署・施設名、問い合わせ先情報の管理など)ができること。	
能		3	管理者は、全てのコンテンツの状態(作成中、承認待ち、公開中)を一覧で確認できる こと。	
		4	複数ユーザーが同時にログインできること。	
		5	ログインパスワードにより作成できるページの権限を振り分けられること。	
		6	管理者は、ユーザー情報(ユーザID・パスワード・権限設定等)の管理(追加・修正・ 削除)が行えること。	
		7	登録できるユーザ情報の数は上限がないこと又は、十分な数を登録できること。	
4	1.キャンプ	1	キャンプ場予約管理はCMSと同じ管理画面にメニューが入っていること。	
付	場予約	2	キャンプ場のエリアとブロックを登録・変更・削除できること。	
加		3	キャンプ場予約管理ができること。	
機		4	キャンプ場予約会員管理ができること。	
能		5	キャンプ場予約があった場合の自動返信メールが送られること。	
		6	会員のMYページ機能が可能なこと。	
		7	キャンプ場の予約オプション(貸出、販売)の登録・変更・削除できること。	
		8	予約データの帳票出力ができること。	
		9	会員情報のCSVインポートができること。	

2.問い合わ	1 必要に応じた問い合わせフォームの作成ができること。
せフォーム	2 問い合わせフォームの自動返信内容を登録・変更・削除できること。
	3 問い合わせフォームの管理者への送信先を指定できること。
	4 問い合わせ内容の設問を登録・変更・削除できること。
	5 問い合わせフォームの数は上限がないこと又は、十分な数を登録できること。
3.アクセス	1ページごとのアクセス件数を取得できること。
解析機能	2 閲覧者の使用するブラウザ・OS・モニタサイズが解析できること。
	3 閲覧者の接続ポイント(都道府県)が解析できること。
4. その他	1 閲覧者が画面を印刷するときは、簡易に印刷できること。
	2 適切な検索対策(SEO)ができていること。
5 も 1. スマー トフォン・ 携帯サイト	原則としてすべてのページについて、パソコン用デザインとは異なるスマートフォン専 1 用ページが自動作成でき、閲覧者の端末画面の大きさによって、表示レイアウトを最適 な状態に変化するレスポンシブデザインを有すること。